

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【公開番号】特開2018-121590(P2018-121590A)

【公開日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2018-030

【出願番号】特願2017-17664(P2017-17664)

【国際特許分類】

A 0 1 G 7/00 (2006.01)

A 0 1 G 7/06 (2006.01)

【F I】

A 0 1 G 7/00 6 0 1 C

A 0 1 G 7/06 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

なお、GSSGは、2分子のGSHがジスルフィド結合によって連なった分子である。一方のGSHは、酸化されやすい性質を有しており、本発明のグルタチオン含有組成物にGSHを含有させた場合、GSSGが少なからず含まれることとなる。つまり、本発明で使用するグルタチオンとしては、GSHとGSSGとが混合した状態でも使用することもできる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0105

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0105】

【表 3】

表3 ゲルタチオン処理による花数と果実数増加の効果(定植55日目)

	花数 (個)					果実個数 (個)				
	第一花房	第二花房	第三花房	第四花房	第五花房	第一花房	第二花房	第三花房	第四花房	第五花房
実施例1	4.6	5.3	12.7	5.7	9.0	3.0	4.8	8.5	2.7	2.2
比較例1	4.2	5.5	6.2	5.5	5.2	0.7	4.3	2.8	4.0	1.3
比較例2	3.8	6.8	7.5	6.3	4.2	0.3	3.7	4.0	2.5	0.8